



学校だより

<http://www.keyaki-sh.spec.ed.jp/>

1月号

令和2年1月8日発行

埼玉県立けやき特別支援学校
048-601-5531

誰かの靴を履いてみることに

校長 三原 和弘

新年あけましておめでとうございます

昨年読んだ本『ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー』（ブレディみかこ著）の中に「自分で誰かの靴を履いてみることに」という言葉が出てきました。この言葉が出てきた背景は、英国の公立学校の7年生から9年生（日本でいうと中学校）の生徒が学んでいるシティズンシップ・エデュケーションという科目の試験で『「エンパシーとは何か」とは』という試験問題が出されたことでした。本の中では、「エンパシー（empathy）」の意味は、ケンブリッジ英英辞典のサイトでは「自分がその人の立場だったらどうだろうと想像することによって誰かの感情や経験を分かち合う能力」と書かれているようで、作者は「自分と違う理念や信念を持つ人や、別にかわいそうとは思えない立場の人々が何を考えているのだろうと想像する力のことだ。」と記してあります。そしてその問題の回答として中学1年生のご息子が回答した言葉が

「自分で誰かの靴を履いてみることに」でした。恥ずかしながら、そのような英語の定型表現があることなど知らなかったのも、とても興味深く感じました。普段使っている言葉の中に、「相手の立場になって考えよう」がありますが、こんな表現ならいつもと違って、さらに考えさせられるのではないかと思います。この言葉自体を考えることも大きな学びになると思います。

また、私たちがいま取り組んでいる新学習指導要領の前文の中には「・・・、一人一人の児童又は生徒が、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができるようにすることが求められる」とあります。このことを達成する根底に、少なくとも「エンパシー」「自分で誰かの靴を履いてみることに」という言葉を据えておくことは学びに確実に生きてくるはずで、様々な意見を交わし、建設的な考えを出しあい、様々な主張をしながら社会を作り上げていく存在になってほしいと思います。

最後に、私たち教職員も、子どもたちに求めるだけでなく、このエンパシーという言葉の意味を踏まえつつ、さらに研鑽を深め、力を合わせてけやき特別支援学校の教育に取り組んでまいります。日頃から、本校教育のためにご理解、ご協力をいただいておりますことに感謝するとともに、本年もご支援を賜りますようよろしくお願いいたします。



1月の行事予定



- 8日(水) 始業式【12:15下校】
- 10日(金) クラブ活動
- 15日(水) 月曜日課
小5社会科見学(埼玉県立小児医療センター内)
- 30日(木) 小学部 校内体験学習

今年度、卒業学年で、受験を予定している児童生徒は、担任またはコーディネーターまでお知らせください。

2月以降の主な予定 *予定ですので、変更になる場合があります。



- 7日(金) クラブ活動
- 14日(金) 令和元年度 第2回学校評議員会【対象:PTA 役員】
- 25日(火) 研究報告会 【12:15下校】ベッド学習も午前中のみ
- 27日(木) 授業参観

*25日は、本校が受けている研究委嘱の報告会(職員研修)のため、午前中授業です。
保護者・一般の方の参観・参加はできませんので、御承知おきください。



- **日(*) 小学部第5・6学年 校外学習(プリランテ武蔵野)
- 2日(月) 第2回 学校保健委員会【対象PTA】
- 4日(水) 卒業・進級を祝う会
- 6日(金) クラブ活動
- 9日(月)・12日(木) 短縮日課【12:15下校】
- 13日(金) 中学部 卒業証書授与式【12:15下校】
- 19日(木) 小学部 卒業証書授与式【12:15下校】金曜日課
- 24日(火) 令和元年度 修了式【12:15下校】

*2日の学校保健委員会は、後日、保護者の方への通知文を発送しますので、詳しくはそちらを御参照ください。

*本校、卒業証書授与式の設定はありますが、小・中学部の卒業学年の児童生徒は、基本的に原籍校の卒業証書授与式の前に学籍を戻して、原籍校で卒業証書をもたらえるようにしています。御不明な点、御心配な点がございましたら、担任もしくはコーディネーターまでお知らせください。